

農業の振興
最近の農業を取りまく内外の厳しい諸情勢に対処し、今後とも本県農業の健全な発展と農家生活の安定向上を図るとともに我が国における食料供給基地としての地位を確立するため、需要の動向に即し、地域の特性を生かした新しい農業を確立する必要があります。このため県では、農業を県経済の基礎的産業として位置づけ、その積極的な振興を図ることとし、市町村、農業団体、農家等と一体と

なつて次のような施策を総合的に推進します。
（農業の計画的推進）
★農産物品質向上・コスト低下運動推進事業
二百五十二万円

最近の農産物の消費停滞と価格の低迷及びコストの上昇傾向に対処し、本県農業の一層の発展を図るとともに農業所得の確保を図るため、農産物品質向上・コスト低下運動を組織的に展開し、必要な



ハウス栽培

施策を総合的に実施します。
（需要の動向に即した農業生産の再編成）
★地域農業生産総合振興事業……………
二十一億五千五百三十五万円
水田利用再編成の推進及び重点作物（麦、大豆、飼料作物、そば）の振興を図るため、土地基盤整備、機械施設導入や集団生産組織の育成等について助成します。
★田麦生産団地育成対策事業……………
二億二千二百二十万円

麦の生産性向上、品質向上及び流通の合理化を図るため、地域ぐるみの団地化促進対策、品質向上や流通合理化対策等の活動について助成します。
★果樹濃密生産団地総合整備事業……………
四千二百九十三万円

果樹農業の中核となる生産団地に生産から流通に至る施設の近代化を図るため、これらの総合的整備について助成します。
★うんしゅうみかん園転換対策事業……………
二億五千七百七十万円

生産が過剰基調に推移しているうんしゅうみかんについて需要に即した計画的な生産を進めるため、晩柑類への転換や優良系統品種への更新等について助成します。
★野菜集団産地育成事業……………
九千七百八十三万円

野菜指定産地の生産及び出荷体制を強化するため、関連施設の整備について助成します。
★肉用牛集約生産基地育成事業……………
五億九千九百三万円

図るため、畜産物の生産流通単位としての濃密生産団地の建設整備について助成します。
★草地開発事業……………
三億八千六百八十八万円

畜産自給飼料の生産基盤を確立するため、草地・飼料畑の造成・改良及び草地利用に必要な施設機械の整備導入等について助成します。
★肉用牛集約生産推進事業……………
七千七百七十五万円

★施設園芸省エネルギー生産技術確立調査事業……………
二百九十四万円
施設園芸における省エネルギー生産技術の確立によるコストの低減と生産性の向上を図るため、新技術現地実証施設の設置を行い関連調査を進めます。
★花き中核産地育成事業……………
九百五十二万円

産地の集団化を進め、近代的な花き産地を育成するため、生産出荷施設の整備について助成します。
★養蚕振興地域育成総合対策事業……………
八千六百八十三万円

養蚕の振興を図る市町村を養蚕振興市町村として指定し、高能率生産団地を育成するため、生産基盤、生産流通施設の整備等について助成します。
★特産畑作整備促進事業……………
二億九百二十万円

たばこ、茶、い草等の特産物生産団地を育成するため、生産集出荷施設の整備や特産農産物の実験圃の設置等について助成します。
★水田裏飼料作物高位生産対策事業……………
八千四万円

大家畜経営の粗飼料給与率を高めるため、水田裏作地における飼料作物の生産拡大と効率的な利用を促進する地域の活動経費について助成します。
★肉用牛中核生産地域育成モデル事業……………
三千五百四十三万円

肉用牛の産肉性及び斉一性を向上させるため、今日まで確立された改良手法と改良組織を基礎に、産子調査や後代検定等により優良種畜の選抜確保を図ります。
★家畜導入事業……………
二億九千五百八十八万円

積極的な規模拡大を志向する農家及び高齢者等を対象とした肉用牛の導入、転作飼料作物の作付増加を図る肉用牛及び乳用牛の導入、さらに優良農用馬の導入を実施した農協に対して、繁殖用として購入・貸付を行う場合その導入について助成します。
★優良種豚適正利用推進事業……………
三百九十万円

肉豚生産における適正な交雑利用を図るため、農協等がその基礎となる優良純粋豚を購入・貸付ける場合その導入について助成します。
（創意を生かした地域農業の確立）
★地域農政特別対策事業……………
六億四千六百三十七万円

地域の志向や特色を生かした農業と農村のあり方を総合的に検討することを促進し、これに基づき実施する担い手の育成、農用地の適正管理や土地基盤・施設整備等に助成するほか、農地流動化促進のための農地貸借の掘り起し等の推進についても助成します。
★農用地利用増進特別対策事業……………
五億四千九百九十万円

地域農業の組織化と生産性の向上を推

肉用牛集約生産基地内の中核となる地域において、繁殖経営の急速な規模拡大・定着化を図るため、子牛販売を見込んで資金を借り入れた農家に対して利子負担軽減のための助成を行います。
★肉用牛生産効率改善事業……………
千七百三十五万円

肉用牛生産の中核となる地域において、肉用牛の改良増殖を推進するため、繁殖農家のグループ化を通じて繁殖技術改善や交配指導等を行います。
★肉用牛集約生産基地育成事業……………
五億九千九百三万円

肉用牛の産肉性及び斉一性を向上させるため、今日まで確立された改良手法と改良組織を基礎に、産子調査や後代検定等により優良種畜の選抜確保を図ります。
★家畜導入事業……………
二億九千五百八十八万円

積極的な規模拡大を志向する農家及び高齢者等を対象とした肉用牛の導入、転作飼料作物の作付増加を図る肉用牛及び乳用牛の導入、さらに優良農用馬の導入を実施した農協に対して、繁殖用として購入・貸付を行う場合その導入について助成します。
★優良種豚適正利用推進事業……………
三百九十万円



阿蘇の放牧